

少しきな質問

問 福祉タクシー試行運行は――

小林 貢議員

問 林道大古瀬線交通止めの解除は――

松本彰夫議員

問 スコラの事故対応は――

瀬尾征爾議員

Q スコラの交通事故に係る損害賠償は全額公金であるが、議会の議決は必要ないのか。

A 総務課長
一時立替金として使うもので、広義に解釈してもらいたい。

Q 事故に係る一連の経費の精算はどうになるのか。

A 総務課長
賠償者が町当局でなければ必要ないと考えていい。

Q 不審火による建物火災復旧に迅速な対応をしているが、補助制度を。――

A 総務課長
集会所建築に係る補助制度で、建設費の50%以内、限度額300万円で対応している。

Q 福祉タクシーは7月から本格運行と聞いていたが何故試行運行となつたのか。

A 企画課長
福祉タクシーの利用者の中選択・決定が難しい事、障害者対策としては効果が疑問など福祉関係の必要性に疑問符が付けられたので総合的に判断

A Q 学校関係の道具・体育施設の管理は、十分検討の必要がある。――

A 総務課長
徹底するため9カ月間の試行運行とした。

Q 公民館担当職員が4名体制となつた。分館活動はどうか。

A 生涯学習課長
地域に出来るだけ出るようにして、従来の分館活動についても充分に取組みを行なつてている。

Q 賠償金を基金から支出するのは基金条例に違反しないか。

Q おでかけタクシーは本運行に移って1年が経過し、100%に届かずとも、利用者から効率的に利活用されている。

試行運行している障害者のための「福祉タクシー」を更に、9カ月(今年度いっぱいまで)延長し、係る業者委託料を補正する認めたが、障害のある人が対象であり、介助

Q おでかけタクシーは部分もある。利用者・業者・行政がそれぞれ協議し、譲り合いで、満足度の高いシステム構築のための試行延長と予算でなければならぬが。

A 企画課長
勿論その為のものだ。委託料の基礎算出には難しい面もあつたが、メタ買いと云う陸運局の

アドバイスも得ながら、業者とも協議の上、一応の数字をだした。この需要が多いとすれば、介助等必要もあることから、どう精算していくかは本格運行をはじめるとまではキチツと整理したい。

Q 林道大古瀬線の災害復旧の工法、工期、通行止めの解除は、今年度は県費の補助が得られず、単町費で、押さえ防災ネットを120m、施工。

A 建設課長
来年度、県の補助を確保して、ポケット式ネットを施工する。

Q やすらぎ苑の駐車場の確保はどこまで進んでいるのか。

A 環境衛生課長
地権者の同意を得ており、農地転用などの手続きを進め、10月以降に取り組む。

問 福祉タクシーは何故試行運行か――

木野山孝志議員

会で対応している。日頃から安全管理の意識高揚を図っていく。

Q 地域に出来るだけ出るようにして、従来の分館活動についても充分に取組みを行なつていている。

Q 本運行に移って1年が経過し、100%に届かずとも、利用者から効率的に利活用されている。

Q おでかけタクシーは部分もある。利用者・業者・行政がそれぞれ協議し、譲り合いで、満足度の高いシステム構築のための試行延長と予算でなければならぬが。

試行運行している障害者のための「福祉タクシー」を更に、9カ月(今年度いっぱいまで)延長し、係る業者委託料を補正する認めたが、障害のある人が対象であり、介助

Q おでかけタクシーは部分もある。利用者・業者・行政がそれぞれ協議し、譲り合いで、満足度の高いシステム構築のための試行延長と予算でなければならぬが。

A 企画課長
勿論その為のものだ。委託料の基礎算出には難しい面もあつたが、メタ買いと云う陸運局の

アドバイスも得ながら、業者とも協議の上、一応の数字をだした。この需要が多いとすれば、介助等必要もあることから、どう精算していくかは本格運行をはじめるとまではキチツと整理したい。

Q 林道大古瀬線の災害復旧の工法、工期、通行止めの解除は、今年度は県費の補助が得られず、単町費で、押さえ防災ネットを120m、施工。

A 建設課長
来年度、県の補助を確保して、ポケット式ネットを施工する。

Q やすらぎ苑の駐車場の確保はどこまで進んでいるのか。

A 環境衛生課長
地権者の同意を得ており、農地転用などの手続きを進め、10月以降に取り組む。

問 学校の防犯対策は

寄定秀幸議員

Q スペースガードの詳
細と、具体的な設置
計画は。

防犯灯や防犯カメラの
設置をすべきでは。
A 学校教育課長
車両の侵入を防
ぐ、ステンレス製の柱と
チエーンによる車止めで
ある。小学校4校、11カ所
と中学校3校、3カ所
設置する。

外灯や、防犯カメラの
設置も検討したい。

Q 火災により断線して
いる天神原管理棟の
電気を早期復旧せよ。
A 生涯学習課長
漏電防止の対策をし
て外部電源の利用で対応
する。復旧は今しばらく
待つていただきたい。

Q 県が病院経営のシ
ミュレーションを委
託したが、結果が信頼で
きなかった。
今度、町が病院経営実
態調査を委託するが、信
用できる業者か。
A 副町長
県の補助はあるのか。
県の委託先は信頼で
きなかつた。今度は医業
経営コンサルタントに委託

し、ベッド数、診療科等地
域の実情にあつた、具体的
な数字を出してもらう。

町と県の人事交流によ
り引き受けた所が人件費
をもつ。それ以外はなく
予算措置はしないが「今
後財政支援も加味する」
という口頭の確認しか出
来ていない。

Q 福祉タクシーにかか
る経費の内容は。

問 病院対策室の経費は

久保田龍泉議員

Q 企画課長
当初4月
～6月まで

試行運行の予
定だつたが利
用効果が少な
く、試行運行
を延ばす。月
40回の利用
で、試行運行
分の経費であ
る。



グランドゴルフ大会（30）

委員会報告

保育所の公設民営化について調査

福祉文教常任委員会

①庄原市保育所公設民営
化について調査

保育所が4カ所あります。
②東城保育所（定員17
名に対し、151名入
所。東城有栖会を指定管
理者）。

原市総合サービス（庄原市
100パーセント出資の
株式会社を指定管理者）。

③庄原北保育所（定員60
名に対し、69名入所。庄
原市総合サービスを指定
管理者）。

調査の日時

平成19年5月18日（金）

庄原市には、18の市立
保育所があり、このうち、

公設民営化（民間委託の
名に対し、81名入所。庄

保育所が4カ所あります。
④庄原市保育所（定員17
名に対し、151名入
所。庄原市総合サービスを指定
管理者）。

庄原市への問
Qなぜ民営化をするので
すか？

政改革大綱のなかで、
同一経費による場合
はサービスの拡大を、
サービスが同一の場合
は経費を削減する工夫
が必要である。保育所
の管理運営において指
定管理者による公設民
営化方式をとることと
しました。

施行後の実情を、通所者
約20名より直接、困ること、不安なこと、要望等
を聞きました。とりわけ、「仕事をさせて欲しい」と
いう要望が強くありました。当委員会として、早
速関係部署（福祉課は勿
論、教育委員会、環境衛
生課等）に実情を伝えま
した。

（2）「ゆき作業所」の視察
「障害者自立支援法」

19年度施行予定の路線などを現地調査

産業建設常任委員会



農道東山方線

調査の日時
平成19年5月23日(木)

調査力所
県工事

小島バイパス

外8路線
農道東山方線

外6路線

調査の結果
中、県工事も予算が厳しく、用地問題が解決しな

▼道路工事 公共事業が縮小する

中、県工事も予算が厳しく、用地問題が解決しな

いと予算も削減・カットされる。
困難とは思うが、用地問題など未解決の事業についても、解決に向け全効力で対応されたい。

町道、農林道についても限られた予算を有効に活用するため、県道などと重複しないよう計画されたい。

先進的農家の視察

▼トマト農家(新規就農者) 農業後継者不足と、高齢化が進む中、転職し、新規にトマト栽培に取り組む兄弟のは場を視察。

新規就農者であるが、親がトマト農家という恵まれた条件ではある。新たに場を造成される等設備投資は大変と感じた。

町の補助は有効に活用されているが、新たに転入し就農する場合は土地、水などの紹介、斡旋が必要である。

▼内農園
5・5mの畑にコンニヤクを栽培し、原料か

ら製品の製造・販売までの一貫経営がなされている。新製品を開拓し、意欲的に経営されている。

雇用、農地の有効利用に大きく貢献されている。

生産部門(コンニャク栽培)の後継者が課題である。

問題など未解決の事業についても、解決に向け全効力で対応されたい。

町道、農林道についても限られた予算を有効に活用するため、県道などと重複しないよう計画されたい。

先進的農家の視察

主要事業の調査

総務企画常任委員会

ら製品の製造・販売までの一貫経営がなされている。新製品を開拓し、意欲的に経営されている。

雇用、農地の有効利用に大きく貢献されている。

生産部門(コンニャク栽培)の後継者が課題である。

問題など未解決の事業についても、解決に向け全効力で対応されたい。

町道、農林道についても限られた予算を有効に活用するため、県道などと重複しないよう計画されたい。

先進的農家の視察

ら製品の製造・販売までの一貫経営がなされている。新製品を開拓し、意欲的に経営されている。

雇用、農地の有効利用に大きく貢献されている。

生産部門(コンニャク栽培)の後継者が課題である。

問題など未解決の事業についても、解決に向け全効力で対応されたい。

町道、農林道についても限られた予算を有効に活用するため、県道などと重複しないよう計画されたい。

先進的農家の視察

意見書の提出

提案者 本川 彰治 諸員
賛成者 松小 清治 諸員

地域内外の交流と連携を支える国道182号や主要地方道の広域的な道路網から、教育医療福祉といった生命線となる道路の整備まで、道路整備は本町の極めて重要な課題となっている。

意見書の提出について

昨年末に、道路特定財源の見直しに関する具体的策が示され、見直しの作業が進められているが、引き続き道路整備の推進が強力に図られるよう要望するものです。



ゆき作業所